

# 岳洋学舎だより

令和5年7月号

目指す子ども像『自信をもち自分の力を発揮する子』（岳洋中、北小、東小、南小）

## 【学びの庭】 地域をつなぎ 地域を活気づける

### ～あいさつプロジェクト2023～

新型コロナウイルスの感染症が収まりつつあり、社会生活も徐々にコロナ禍以前の生活に戻ろうとしています。コロナ後の社会が動き出した今、まちを明るく元気にしたいと考え、7月12日から3日間、市内の高校生、中学生、小学生が、あいさつ交流しながら、地域に元気を与えるあいさつ運動に取り組みました。

市教委が進める小中一貫教育「学びの庭」構想の一環として、岳洋中学校では、代表生徒が出身小学校に出向き、のぼり旗を手にして登校して来る小学生や地域の人に明るいあいさつの声を響かせました。小学生は久しぶりに会えた中学生の先輩に大喜びでした。地域の方からは、「子どもたちからエネルギーをもらったよ」と、うれしい声が届きました。

あいさつには、地域をつなぎ、地域を活気づける力が秘められていると思いました。



岳洋中

前週から学校独自にあいさつ活動を実施



小笠南小

気持ちのよい元気な声で一日がスタート



小笠北小

翌週、6人が来校しあいさつ運動を再開



小笠東小

ペコライダーと一緒に昇降口で声掛けに立つ

# 地域と学校で 共にできることを考える

## ～第1回岳洋学舎運営協議会開催～

7月14日、中央公民館にて、「学校と家庭・地域の連携・協働」について話し合う第1回岳洋学舎運営協議会が開催されました。地域や保護者の代表、校長や教頭、市職員が出席して、「小中一貫教育・学びの庭」構想の取組状況や来年度から始まる「コミュニティ・スクール」について理解を深めました。グループ協議の最初に、山崎校長（岳洋中）から「目指す子ども像『自信をもち自分の力を発揮する子』に迫るために学力向上（社会の中で生きて働く力）を取組の一つにしたい」と提案され、話し合いのテーマに加えて活発に御協議いただきました。出された御意見を今後の取組に生かしていきたいと思っております。

### ◎ グループ協議では

#### ア 交通安全の推進について

- ・子どもたちは気を付けて登校しているが、通学路の整備面で課題が多い。危険箇所は、許可証を必要としたり通行制限したりすることも検討したい。下校時の見届けは、地域住民の見守りに期待する。

#### イ「すてきなあいさつ」運動の拡大について

- ・取組の成果が見られる。横断歩道前で停止した車に会釈するなど運動を広げていく。
- ・地域の人から率先してあいさつの手本を示し、顔が見える関係にしていきたい。

#### ウ「学力向上（生きて働く力）の向上について

- ・子どものよさや持ち味を強みにして取り組む。「人やもの・こと」とつなぎ、「地域を学び舎」に変えていくことが大切である。地域の方の生き方を学び、子どもに将来への目標や夢をもたせ、学びへの強い動機付けをする。
- ・岳洋中が以前実施した「吸い殻拾い」は、「学校を核とした地域づくり」につながった。この成功体験に学び、子どもと保護者・地域住民とが共に活動する取組を企画したい。そのような取組が、学力の基盤となる「自信や自己有用感、コミュニケーション力の向上」につながっていく。取組を通じて岳洋学舎が周囲から注目されるようにしたい。

### 目指す子ども像を実現するための仕組み

#### 菊川市の『コミュニティ・スクール』とは

- ・小中一貫型、岳洋学舎に一つの学校運営協議会を設置する。
- ・中学校の校長が学舎を代表して、目指す子ども像と教育計画を提示する。
- ・委員は、各校から2名と校長及び中学校に配置するディレクターとする。



全体会



グループ協議